

Retroperitoneal Lipoma: How rare are they?: A study by TARPSWG 後腹膜脂肪腫に関する研究

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日から 2020 年 1 月 31 日までの間に、当院で後腹膜・骨盤・腸間膜に発生した脂肪性腫瘍（脂肪腫、高分化型脂肪肉腫、血管筋脂肪腫）と診断された方。

2. 研究目的・方法

目的：後腹膜に発生した脂肪腫の発生率と病態を調べることで、これらの患者の治療指針を明らかにすることです。

方法：研究対象者の診療録を後ろ向きに調査します。

実施期間：研究許可日～2028 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、発生部位、組織型、既往歴、生検方法、臨床症状、経過観察機関、手術日、手術時間、出血量、入院期間、合併症、合併症に対する治療、再発の有無、等

4. 試料・情報の授受

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。

具体的には、個人情報を含まないファイルとして電子的配信により実施します。

対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、外国の研究機関からデータの提供を求められることがあります。現時点であなたのデータを提供する予定の研究機関は以下の通りです。

- ・ City of Hope National Medical Center (米国)

上記当該外国における個人情報保護制度の有無：あり

その概要：以下をご参照ください

個人情報保護委員会公式ホームページ「外国における個人情報の保護に関する制度等の調査」

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

5. 研究組織・研究責任者

TARPSWG (The Transatlantic Australasian Retroperitoneal Sarcoma Working Group)
参加施設のうち、本研究に参加する施設となります。

(<https://tarpswg.org/open-studies-project/>を参照)

研究代表者: William Tseng, MD (City of Hope National Medical Center)

6. お問い合わせ先等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話: 03-3542-2511 (代表)

所属・氏名: 国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科
岩田慎太郎